

江工会会報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 代 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

新春のご挨拶

会 長 室 安 延 博
(建築科昭和三十一年卒業)



大変厳しい年
明と成りました
が皆様お揃いで
元気に新春をお
迎えることとお慶び申し上
げます。

三年前には、戦後最長の「い
ざなぎ景気」を越えたと年頭
の挨拶を書き出しましたが世
界の経済状況は一〇〇年に一
度と言われる大不況に陥った
と言われています。

国際的には、米国発の金融
危機が実体経済に波及して全
世界が急速に迷走する不況に
突入しました。原価価格の急
騰下落、更には付随して輸送
コスト増で食料価格も高騰、
各地でテロ暴動・大地震と暗
いニュースの年で有りました。
政治に於ては、三月ロシア・
十一月にはアメリカと両国の
新大統領が選挙されましたが
今後の我が日本国に及ぼす影

響は？凶となるか吉となるか？
国内では、科学立国日本を
象徴するが如くノーベル物理
学賞に四人もの名誉教授の先
生方が受賞されました。国民
として大変慶びと致すところ
です。

また、我が母校江津工業高
校は文部科学省の「目指せス
ペシャルリスト」研究開発校に、
島根鳥取両県で唯一本年度の
全国十二校中に選ばれました。
全国のモデルとなる「古里に
愛着を持ち、コミュニケーション
能力に優れた工業人を育
成するプログラム」づくり
三年間取り組みとして、地域
連帯と異年齢交流は従来の就
業体験や子ども向け教室をよ
り深めながら、インターネッ
ト上で限られた参加者同士が
意見交換し学校や地元企業の
参加を構築し、生徒の技術や
コミュニケーション力の向上

や学校評価などに活かす。と
して指定を受けました。今後
の更なる発展を祈願するところ
です。

昨年各支部の総会に案内
をいただき参加の機会を得ま
した。先輩会員の体調不良に
よるご欠席で寂しさも有りま
したが、平成の卒業会員の参
加もいただけた喜びを味合わ
せて頂きました。

昨年恒例の世相を表わす漢
字一字は「変」が選ばれました。
大変の「変」を大きく脱却し
て、本年は未来に希望の持て
る変革(米大統領オバマ氏の
キャッチフレーズであるチェ
ンジ)の年を迎えたいもので
す。

結びに、会員の皆様には御
健勝で良い年に成りますこと
を心からご祈念申し上げます。

ご挨拶

校長 濱 田 清 行



江工会員の皆
様には、新春を
お元気で迎え
のこととお慶び
申し上げます。

平素より、本校の教育活動
に格別のご理解とご支援を賜



浅利海岸の風力発電

精一杯努力する所存でござい
ますので、よろしく願ひ
いたします。

り厚くお礼申し上げます。
私は平成二十年四月より金
山校長の後を受け赴任してま
いりました。石見地域の産業
人材育成の拠点としての本校
の存在意義を考えますと、身
の引き締まる思いが致します。
さて、少子化に伴い島根県
の高校再編計画の中に、「一
学年二クラスとなることが見
込まれる専門高校は近隣の高
校との統合を検討する」とあ
ります。現在、本校は三クラ
スですが、平成二十年度の入
学生は、募集定員三科百二十

一期一会

教 頭 岩 井 省 悟



いつも母校に温かいご支援をいただきありがとうございます。どうぞございます。

名に対して、機械科は定員を満たしましたが、他の二科は定員を割り込みました。従って、生徒増が本校の喫緊の課題です。島根県や江津市の定住対策・産業振興策などは追い風と考えています。

一方、県教委の後押しもあり、平成二十年度に文部科学省事業「目指せスペシャリスト（スーパー専門高校）」の研究開発指定校となりました。「ふるさとに愛着をもち、コミュニケーション能力に優れた人材の育成」を研究テーマに、今後三年間にわたり取り組みます。詳しい内容は、HPに掲載しています。

本校が存続し、充実発展することが地域の活性化につながります。本校で工業の専門知識・技術・技能・資格を修得し、地域に残って就職する。希望によつては、県外の企業に就職してもいいし、大学に進むことも選択肢の一つです。まずは、本校に入学することがその出発点なのだと思ひます。

終わりになりましたが、江工会がますます充実発展されることを願うとともに、皆様方のご活躍とご健康をお祈り致します。

今日までに広島支部、山口支部、益田支部、大阪支部、弥栄支部と多くの支部総会にお招きいただきました。大変ありがとうございます。益田支部総会には今回もお招きいただきました。

初めて出席させていただきましたのが広島支部総会でした。森口支部長に大変お世話になりました。一緒に伺った高橋次郎江工会長（当時）と夜遅くまで一緒に過ごさせていただきました。

「今回の幹事は鹿島でやらせて頂きます。」と鹿島の方六名が最後まで面倒を見ていただきました。何時どのようにして部屋に帰ったか全く記憶がありませんでした。皆さんに大変ご迷惑をかけたことだと思ひます。

昨年大阪支部総会に室安延博江工会長と出席させていただきました。その折、大変多くの図書を寄贈いただいた森川秀美氏（建築科四十四卒）

にお会いでき歓談できました。会が始まり同じテーブルの隣の席に「森口」と言う名前がありました。何気なく「昔広島支部でお世話になった方に森口支部長がおられました」と話したところ、私が当時の広島支部長でしたと答えられました。大変驚き、筆舌に尽くし難い感慨に浸り、当時の話で一瞬に時間が過ぎ去りました。

大阪産業人クラブ（日刊工業新聞）の馬木治美氏（機械科三十九卒）より、いつも日刊工業新聞をお贈りいただいております。地方にいて、紙面の最先端ニュースや技術は授業で大変役立つしております。学校の様子を少しお話しします。文部科学省の研究開発事業に応募したところ、本校の研究開発事業が採択になりました。三年間研究開発にあたります。全国で十二校が採択されました。3、3倍でした。

（そのうち工業高校は二校）「目指せスペシャリスト（スーパー専門高校）」です。「ふるさとに愛着を持ち、コミュニケーション能力に優れた工業人を育成するプログラム」（地域連携及び異年齢交流による人材育成と新たな評価法【SNSの導入】の構築）です。

「SNS：ソーシャル・ネットワーク・システムでインターネット上のパスワードで管理された限られた参加者同士での意見交換型ホームページ提供システム」目標が達成できますように学校を挙げて取り組みを報告したいと思います。

少子高齢化でここ江工のエリア（江津・浜田・大田）は中学生の減少が著しい状態です。地域に魅力を持たせ、工業高校に魅力を持たせ、地元企業に魅力を持たせることが喫緊の課題となっています。今回の文部科学省の事業に江津工業高校の生き残りがかかっています。

部活動に、資格検定の取得に、生徒たちは熱心に取り組んでいます。女子の活躍があります。三月に弓道部女子が島根県代表で全国選抜大会（静岡県藤枝市）に出場します。期待してください。

最後になりましたが、私事ですみません。三月で定年退職です。長い間お世話になりました。山の出会い、思い出をありがとうございます。

皆様のご健康とご活躍をお祈りし筆を擱きます。



関東支部

ご挨拶

役員 小笠原 万 正

(建築科 昭和51年卒業)



新年明けましておめでとうございます。去る一月十日

（土）に江工会関東支部の役員会・新年会を開催し、名譽顧問はじめ十三名の会になりました。出席されました諸先輩方からは、あらためて、この会の必要性と開催の意義を唱える声が数多く上がりました。

そのような中、二月の関東支部の総会に向け出席者の確認をしたところ、七十名前後となり、残念ながら出席者は年々減っているような状態です。若い人たちの出席が少ないうちも大きな原因だと思ひますが、出席者を増やす為の対策が今後の一番の課



関東支部役員会

題となっております。

私も、出席者の中では若いほうになりますので、より一層率先して出席者を集い、増やすことに尽力していきたいと思えます。ただ、関東支部だけでは力の及ばない事もあります。例えば、引越し等で住所が変わり連絡の取れなくなってしまう人など・・。

ぜひ全国の江工会の方々に多人数のいろいろな情報を伝えることが出来ればと思つ

ております。そして先輩方が続けてこられたこの会を代々受け継いでいけるよう努力していきます。また、昨年から江津市の地元の活性化に向け、江津市の産業振興施策として掲げている『都市との共生・対流』の実現に向け、江工会関東支部としても応援・協力し、いろいろな情報を発信しながら、江津工業高校はじめ他校の発展、ひいては島根県の繁栄に繋がるような活動をしていきたいと思えます。

最後に、江工会の皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

これからのご発展とご健康をお祈り申し上げます。



関西支部

支部活動の継続

支部長 橋目 福司
(建築科 昭和39年卒業)



申し上げます。

昨年は、米国のリーマンショックに端を発し地球規模での金融不安を抱えた状態で今年を迎えました。この未曾有の不況を前に、今年はどうなるのか不安がいつぱいですが、会員の皆様には、この難局を乗り切つて、よい年にして頂きたいと思えます。

私事ですが、昨年建築三十九年卒の有志十二人で同窓会を開催しました。実に四十五年ぶりの再会でした。懐かしさも有りましたが、まず『顔と名前』が一致しません

江工会の会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び

した。がそれも瞬間的なもので直ぐに在校時代に戻り、四十五年の空白を感じず夜の耽るのも忘れて語り合い、再会を約束して散会しました。また、昨年の総会に十年近く途絶えていました新卒の後輩が参加してくれました。古和勇二君で就職先は『日本建設・大阪支店』工事課で現在元気で勤務されています。懇親会では久しぶりの新入会員で本人も初めは緊張していたようですが、それよりも先輩諸氏の方が緊張されておられ

第52回 関西支部総会



古和 勇二君 (建築科 平成19年卒)

たように感じました。先輩からの激励の言葉や経験談には熱心に耳を傾けて聞いていたのが印象的でした。関西地区の各分野で活躍された先輩の話は本人も心強く感じたことと思えます。

このように先輩後輩の絆の強さが江工会の最大の強みではないでしょうか。高齢化社会とはいえ、還暦を迎えてもまだまだ現役で頑張つておられる会員も多数おられます。今まで蓄積されたノウハウを後輩に伝承して頂く意味でも支部総会には是非参加して頂きたいと思えます。

今年で関西支部も五十三回を迎えます。我々支部役員は、これを途絶えることなく継続することが最も重要なことと考えます。毎年のことですが、関西支部では総会の案内発送数が年々減少しています。住所変更の連絡が無い為に案内が返送されることが多くなつており、昨年の発送数は三百二十名となっております。同窓会を計画されているグループが御座いましたら総会を兼ねての開催をお願いします。この会報をご覧になられた方で住所を変更された会員の方は是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に今後とも関西支部の活動にご指導、ご協力をお願い致します。

山口支部

世界危機

前支部長 上田博祥
(建築科 昭和33年卒業)



新年、あけましておめでとうございます。会員の皆様には、希望と期待に満ちた2009年の新春を、めでたくお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は厳しい中にも景気が回復に向かうのではないかと祈る気持ちでしたが、一変して百年に一度の金融危機到来でした。新卒者の内定取り消し、派遣社員の雇い止め等、連日報道されました。郵便事業会社の年賀状の集配・仕分けなど高校・大学生のアルバイトに、それ以外の求職者の応募が殺到したりして、世界的な景気低迷による雇用状況の悪化が改めて裏付けられた形となりました。

国内外の大手自動車等の製造業、業種を問わずに企業の非正規社員の大幅な削減等、2002年のバブル崩壊後の不況と今回を比較してみると、仕事を失う不安や危機感をもっている状況が大であると思います。さて江工会山口県支部も高齢化が進み、支部活動において、若い力の参加を真剣に考える時期に来ていると痛感しているところです。第四十七回目の江工会山口県支部の総会を、二月十七日、地区持ち回り二回目となる下関地区で、江工会会長様、事務局員様を迎え三十八名の出席を得て開催しました。学校の近況報告が行われ、二部の懇親会では出席者全員が校歌・応援歌の合唱と、時の経つのも忘れて語り合い、次回の山口地区への引継ぎを行い、散会となりました。

最後にになりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健康を心より祈念申し上げます。今後とも山口県支部の活動にご指導、ご協力をお願いします。



益田支部

池ポッチャン」

「古式のバンザイ」

事務局 篠原新六
(建築科 昭和40年卒業)



新年明けましておめでとうございます。江工会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。我が益田支部は結成以来田淵直徳支部長のもと総勢百四十名弱の会員で六年目の新春を迎えました。

そうした中、昨年十一月二日益田市市のホテルにて、総勢十九名の会員のもと第五回の総会を開催しました。総会においては、多くの会員が気軽に参加できる支部会にすることを決議して終了し、「旭光燦たる星高山と我等の学舎」が流れる懇親会場に移動し、田淵直徳支部長の来賓歓迎挨拶に始まり、来賓者室安延博江工会本部会長挨拶・岩井省悟学校教頭挨拶に引き続き乾杯の音頭を頂き懇親会の幕が開き、先輩、後輩の垣根を乗り越え宴も徐々に盛り上がり、恒例のゴルフコンペ表彰へ、支部長から各賞の受

賞者発表ごとに喚起があがる中「池ポッチャン」、優勝、俺二回も「ニアピン」取ったのに・・・等々で最高潮に盛り上がる中、万歳三唱を迎え、「本日の万歳三唱は古式に乗っ取り行う、皆さんご唱和をお願いします。」一同一瞬何々と(古式バンザイ)姿勢を正し、指をズボンの折りに一呼吸置き、腕を頭上上げると同時にバンザイと叫び右足を一歩前に出す、これを三回繰返す。本人曰く「これ本当といながらも参加者全員でバンザイこれまた最高に盛り上がり、二次会へ、江工会長・教頭挨拶の中で本校の就職、学業、部活動等の状況を聞き、早朝の汽車通、学校生活、卒業就職等当時の思いがダブって望学の念にいたっていましたが、本年度卒業生が百人を切ったと

聞き一抹の淋しさを感じています。最後になりましたが、江工会長・教頭・事務局・学校関係者の皆様の益々のご活躍と母校の更なる発展を祈り、今後とも、益田支部へのご支援、ご協力をお願いいたしまして報告いたします。



益田支部総会

弥栄支部

前進への危機

支部長 三浦 寛章
(機械科 昭和51年卒業)



江工会の皆様
明けましてお
めでとうござ
います。本年
も皆様が元気で活躍される事
をお祈り申し上げます。

昨年後半からの大不況によ
り江工業界戦士として活躍さ
れている方々にも、ひしひし
とその足音が迫っているのだ
はないかと思えます。また、
私を取り巻く環境もそうであ
り、足音が聞こえつつあるも
の今は踏ん張っているのが現
状です。

地域を取り巻く厳しい環境
の中、弥栄地区におきまして、
若者(多少高齢化しています
が)グループがガンバッテい
ます。方言を使用し、「あず
る会」「はなえる会」の活躍
中の二つのグループが在りま
す。地域を何とかするのは自
分たち、助け合うのも自分た
ち、と積極的に活動されてい
ます。

各グループの特徴は参加す
るといふことです。閉鎖的で
なく、とにかく前へ出て何か

をしないと自分たち・地域が
減びてしまう、そういう危機
を持ち活動している中、一歩
一歩では在りませんが成果とし
て現れています。後進するの
ではなく、前へ前への精神を
貫つていきます。

本年は、まだまだ厳しさが
迫ってきますが、この元気を
もらって、一歩でもいいから
前進して行きたいと思えます。
昨年の総会は大雪に見舞わ
れましたが、懇親会は雪見酒
を堪能いただきました。

総会来賓にお越し下さった
江津支部 横田事務局長氏の
熱弁には、支部会員も前への
精神を頂きました。
二十三回目の総会を前に支
部会員一同、一歩前に出られ
る活動をしていきたいと思
います。

江津支部

「厳しい時こそ、
江工会の真骨頂発揮を！」

事務局 横田 学
(工業化学科 昭和43年卒業)



経験したこ
との無い世界
同時不況、子
供達の就職活
動も大変厳しくなっ
て行きます

す。経済の激甚災害だと思
います。このような時こそ江工
会の真骨頂である連携、助け
合いを発揮する時であると思
います。今年も宜しく願
致します。

昨年度江津支部の重点取
組みについて

- ① 江工会の室安会長が、二期
四年江津市議会の議長職の
責任を見事に果たされ、ご
勇退されました。後任に江
工会会員で福原議長、土井
副議長にバトンを渡されま
した(江津支部で感謝と激
励の集いを開催)
- ② 先進高校(高知県大方高校)
視察



先進高校視察(大方高校)

室安会長・福原・藤田・益
子原(江津支部)(現市議
会議員)と工業高校野津・
佐々岡・両先生方と工業高
校活性化に向けて大変興味

深い勉強が出来ました。



馬木事務局長企業訪問(岩本ダイス工業)

される産業人材育成に学校
地域を上げて取り組みを開
始し、今、母校は変わろう
としています。
江工会会員の皆様、工業高
校も生き残りを賭けて必死に
努力しております。母校江津
工業高校の為に、ご支援ご鞭
撻を頂きたいと思えます。宜
しくお願い致します。

同窓会

八月十三日

電気科四十三年卒(八期)
浜田市(鈴蘭別館)にて
十七名参加。

恩師の先生方へも案内を
差し上げましたが都合が
つかず残念でした。久々の
再会に昔を思い出した一時
でした。



目指スベ運営委員会

④ 文部科学省の「目指せスベ
シャリスト」三年事業に江
津工業高校が厳しい競争の
中、認可されました。期待



電気科8期同窓会(於:鈴蘭別館)

事務局だより

平成二〇年一月から十二月

二〇〇八年(平成二十年)二月一日

会報第四十二号発行
県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現旧教職員、在校生、同期会等に配布。

二月十六日 関東支部総会

塚本 清支部長はじめ会員八十余名の出席、来賓として関西支部から二名と江津支部、鳥根県東京事務所等から多くが出席。

懇親会アトラクションでは、春風亭鹿の子さんの落語上演があり、大いに盛り上がりしました。

本部より室安会長・金山校長・高月事務局長が出席。



春風亭かの子さんの落語



関東支部総会・懇親会

平成19年度江工会一般会計決算書

【1】収入の部

費目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘要
1. 繰越金	16,638	16,638	0	平成18年度一般会計より
2. 会費・入会金	1,155,600	1,122,992	△ 32,608	18年度卒業107名300円x36月-¥34,500+利息692
3. 寄付金	10,000	37,000	27,000	関東支部、嶋田監査、浅野監査、佐々木氏、横田氏
4. 繰入金	650,000	550,673	△ 99,327	60・70周年名簿会計より繰入
5. 雑収入	762	4,867	4,105	名簿販売(¥4,000)、預金利息
合計	1,833,000	1,732,170	△ 100,830	

【2】支出の部

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引	摘要
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	400,000	400,000	0	会報42号発行 + 前年度分
記念品費	30,000	21,222	8,778	卒業生へ卒業証書用丸筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	会館運営会計へ
2. 管理費				
通信費	30,000	18,930	11,070	案内状、会報発送、他
印刷費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
旅費	400,000	355,602	44,398	支部訪問、他
会議費	200,000	154,778	45,222	本部総会費、支部総会出席
慶弔費	30,000	15,407	14,593	弔電、もりかご
雑費	30,000	37,622	△ 7,622	広告料、謝礼、写真、他
3. 積立金	550,000	550,000	0	60・70周年名簿会計を一般会計積立金にて管理
4. 予備費	3,000	0	3,000	
合計	1,833,000	1,713,561	119,439	

収入総額 1,732,170円 - 支出額 1,713,561円 = 差引残額 18,609円

工友会だより

懇親会を開催

かつて江津工業高校へ勤務していた教職員が、退職後互いの親睦を主目的に組織された「工友会」の今年度の事業は、順番に従い懇親会であった。

十月四日(土)市内和木町のパレス和光で開催した。遠くは松江市からの参加もあり十七名が集った。

冒頭、三名の物故者のご冥福を祈り黙祷の後、平田

会長が「久しぶりにお会いでき嬉しく思う、大いに歓談頂き明日への活力にして欲しい」旨の挨拶があり宴会に入った。二十数年ぶりの再会を喜ぶ者、米国の経済暗雲が日本へ及ぼす影響、ひいては生徒の就職にまで話が及ぶ者、少子化生徒減を懸念する者、ものわずれ、親の介護、孫自慢等々に盛り上がった二時間半であった。互いに元気で再会を約束して閉会した。

当初の企画では、現校長先生に学校の現況をお聞きする予定であったが当日体育祭のため実現せず残念であった。
なお、平成二十一年度の当会の事業は研修旅行の年である。九月下旬広島方面に一泊の予定で現在担当の幹事が詳細を詰めているところである。後日案内の予定である。
(工友会事務局 服部 勝幸 記)





山口県支部総会

懇親会では名物のふく料理に舌鼓を打ち、最後に応援歌、校歌そして島根県民歌

二月十七日 山口県支部総会 上田博祥支部長はじめ会員三十九名の出席(担当Ⅱ下関地区)、来賓として九州支部から三名の出席。役員改選により吉崎錦明氏が新支部長に就任されました。



嶋田信義(M科36年卒)氏の指揮による校歌斉唱



弥栄支部総会

まで熱唱、締めとなりました。本部より室安会長・沖田事務局員が出席。二月二十四日 弥栄支部総会 三浦寛章支部長はじめ会員十名の出席。懇親会では、名物の猪鍋やどぶろくが振る舞われ、自己紹介で盛り上がり、最後は全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。なお、前支部長の栗栖卓三氏に感謝状が贈呈されました。本部より室安会長・岩井教頭・川本事務局員が出席。江津支部の横田事務局長の出席もありました。

平成20年度 江工会一般会計予算書(案)

費 目	本年度予算額	本年度決算額	増 △減	摘 要
【1】収入の部				
1. 繰越金	18,609	16,638	1,971	平成19年度繰越金
2. 会費・入会金	874,800	1,155,600	△ 280,800	平成19年度卒業生81名×900円×12月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	100,000	650,000	△ 550,000	積立金会計より繰入
5. 雑収入	1,591	762	829	預金利息、等
合 計	1,005,000	1,833,000	△ 828,000	
【2】支出の部				
1. 事 業 費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	400,000	△ 200,000	会報43号発行
記念品費	25,000	30,000	△ 5,000	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
2. 管 理 費				
通信費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送、他
旅費	350,000	400,000	△ 50,000	理事会、支部訪問、他
会議費	170,000	200,000	△ 30,000	本部総会・支部総会 出席
慶弔費	20,000	30,000	△ 10,000	
雑費	40,000	30,000	10,000	広告料、謝礼、他
3. 積立金	0	550,000	△ 550,000	
4. 予備費	10,000	3,000	7,000	
合 計	1,005,000	1,833,000	△ 828,000	



総会の最後に全員で大合唱

二月二十九日 新卒者入会式 江工会入会者(平成十九年度 卒業生八十一名) 江津支部事務局長の横田学氏(工化四十三年卒)より「江工生よ! 故郷に錦を!」と題して卒業を控えた生徒たちに、自分の習得した技術を実社会で、さらに磨きをかけ、母校愛、郷土愛を忘れず、故郷に心の錦を飾ろう。と熱のこもった講話を頂きました。



江工会入会式

五月十六日

江工会理事会・総会

十九年度事業・決算報告、二十年度事業・予算審議。すべての議案が承認された。総会や懇親会に遠くは益田市・浜田市・川本町から、また旧事務局員の出席もあった。学校からは濱田新校長・岩井教頭・難波総務部長らの出席で親交を深めることができた。

六月七日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員六十余名の出席。来賓として関東支部や江津支部から三名の出席。総会に合わせ、外部講師による講演（老人の食生活について）もあった。懇親会のアトラクショ



関西支部総会

七月十日

室安会長、市議会議長 退任慰労会

江津支部の砂田 忠支部長の発案により開催。江津支部有志二十名の出席があり、盛夏の折ではあったが、横田 学事務局長のアイデアによる鍋パーティーで吹き出る汗を拭き拭き、室安会長の永年のご苦



室安会長の市議会議長退任慰労会



バンドの楽しい演奏

ンでは、ビンゴゲームやカントリーミュージックの生演奏などで盛り上がり、最後に、応援歌や校歌の大合唱で大変な盛会でした。本部より室安会長・濱田校長岩田事務局員が出席。

十一月二十二日

益田支部総会

田淵直徳支部長はじめ会員十九名の出席。総会前に記念写真を撮影。懇親会では、校歌BGMの流れるなか、近況や母校の思い出を和やかに語り合い、また、当日に行われたゴルフコンペの表彰式等で盛り上がりしました。本部より室安会長・岩井教頭・佐々木敏事務局長が出席。



益田支部総会

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員

- 下垣 紫朗 (電気)
- 松野 茂 (電気)
- 反田 修一 (事務)

会 員

- 横田 正孝 (建築22年卒)
 - 今田 剛 (木建12年卒)
 - 石田 敏美 (機械48年卒)
 - 蔵本 武勇 (②建20年卒)
 - 谷口 忠正 (機械32年卒)
- ※事務局で把握できなかった方のみ記載しております。

編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで第四十三号を発行することができました。一面の写真は浅利の海岸から浅利富士を写した写真です。

ご覧のように海岸沿いに大きな風車が何機も設置され、また学校から見える南西側の山の山頂には九機の風車が設置されています。さらにお隣の日本製紙(旧山パル)の煙突は二本になるなど江津の街の風景は大きく変わってきました。母校江津工業高校も少子化や理科・工業離れの影響を受け、定員が充足できない大変な状況になっておりますが、未来に希望の持てる変革をしていくよう尽力していきたいと思っております。

なお、今後とも、会報に対

TEL ○八五五(五二)二二二〇

FAX ○八五五(五二)二二六四

皆様からのおたよりを
お待ちしております

江工ホームページアドレス

http://www.shimanet.ed.jp/goutu-ih/

〒 695-0011

島根県江津市江津町 1477 番地

TEL. 0855-52-2120・FAX. 0855-52-2264